



第79期 第2四半期

## 株主通信

2013年4月1日～2013年9月30日

証券コード：6118

### 社長メッセージ

## 海外戦略の進展で 4期連続増収増益の達成へ

### 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第79期（2014年3月期）第2四半期連結累計期間（2013年4月1日から9月30日まで）の業績と、現在の取組などについて、ご報告申し上げます。



代表取締役社長 会田 仁一

### 当第2四半期連結累計期間の業績

当第2四半期連結累計期間は、北米を中心に中・大型プレス機の販売が好調で、アジアや欧州でも自動車関連向けの売上が増加したうえ、円安も含めた増収効果や原価率低減への取組も奏功し、売上高318億7千4百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益31億2千4百万円（同51.0%増）、経常利益34億7千万円（同59.3%増）、四半期純利益については30億5千1百万円（同64.1%増）となり、増収増益を達成しました。

### 中期経営基本計画の進捗状況

中期経営基本計画の最終年度である2014年3月期（今期）は、2012年3月期の計画開始から継続して、「顧客の創造」と「付加価値の拡大」という2つの重点施策に取り組んでいます。

### <顧客の創造>

「顧客の創造」については、「成長市場への傾注」と「新機軸商品の拡充」という指針を掲げ、安定成長が続く自動車関連業界を中心とした顧客開拓、さらに、主力商品のサーボプレス機のラインナップの充実化と、自動化システムとの一体販売に取り組んでいます。

その結果、アジアや欧米において自動車関連を中心とした現地企業や欧米企業への新規納入が着実に進展しています。例えば高級車ブランドのジャガー・ランドローバー社からは、2012年3月期の取引開始以来約2年間で120億円規模の受注を得ています。また、従来機より生産性や省エネ性をさらに高めた新型の汎用サーボプレス機を開発し、国内外での新たな市場の掘り起こしも進めています。

## 社長メッセージ

### <付加価値の拡大>

もう一つの重点施策「付加価値の拡大」に向けては、「強い商品・高収益事業への傾注」と「生産性の向上」に取り組んでいます。当社が強みを持つ高速精密プレス機については、価格競争力を高めた機種を開発し、インドを含めたアジア市場の開拓を推進しています。また相対的に収益性の高いサービス事業において、保守点検や部品販売のみならず、既存の機械に最新鋭のテクノロジーを付加し、お客さまの生産性向上などに繋がる近代化サービス事業の強化に努め、事業機会を拡大しています。

また、現在の中期計画がスタートした時点では受注の7割以上が海外向けである一方で、生産の6割が国内であったため、海外生産比率を一層高める投資を続けています。2011年の中国新工場建設、12年のマレーシア工場拡張に続き、今期はイタリア工場を約2倍に拡張、外注製造の一部内製化も進めるなど、生産能力を強化するとともに、日本を含む世界5拠点のグローバル分業生産体制をさらに進化させています。

### 通期の連結業績見通し

以上により、通期では、売上高 650 億円 (前期比 12.4% 増)、営業利益 58 億円 (同 54.4% 増)、経常利益 61 億円 (同 49.8% 増)、当期純利益 50 億円 (同 31.5% 増) と、4 期連続の増収増益を見込んでいます。

### 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆さまの利益向上を経営上の重要課題の一つとして認識し、企業価値の向上と 1 株当たり利益の継続的な増加に努めております。利益配分に関しては、連結株主資本配当率 (DOE) も考慮して安定的な配当の継続を重視するとともに、連結配当性向 30% を目処に利益配分を行うことを基本方針としております。年間配当金は、現在のところ 1 株につき普通配当 24 円、4 期連続の増配を予定しています。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社グループへの一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013 年 12 月

代表取締役社長

会田 仁一

### 中期経営基本計画の目標

#### 売上高

2014 年 3 月期までに 650 億円超を目指す

#### 営業利益率

2014 年 3 月期に 8% 以上を安定的に達成する

#### 株主還元

連結配当性向 30% を目処に実施 (DOE も意識)

## トピックス 収益性向上に向けた取り組み

### 新機軸商品の拡充

### グローバル展開を目指した新型サーボプレス「DSF」の投入

当社が世界に先駆けてサーボプレス機を発表して約 10 年が経ち、より付加価値の高い進化系モデルを 2013 年 7 月に販売開始しました。当社は、この新型機「DSF」シリーズを“アイダのサーボプレス”の代表ブランドと位置づけ、お客さまが新しいモノづくりにチャレンジする起爆剤とするべく、サーボプレス機の納入実績のない国内の中堅企業やアジアなどの海外ユーザーの開拓を目指しています。

#### 特徴

- ① **生産性の進化**：最新式のサーボモーター搭載により生産性向上を実現
- ② **操作性の進化**：成形条件の自動演算機能等により簡単操作で最適設定を実現
- ③ **省エネ性の進化**：電力ピークカット機能により安定的な省エネ運転を実現

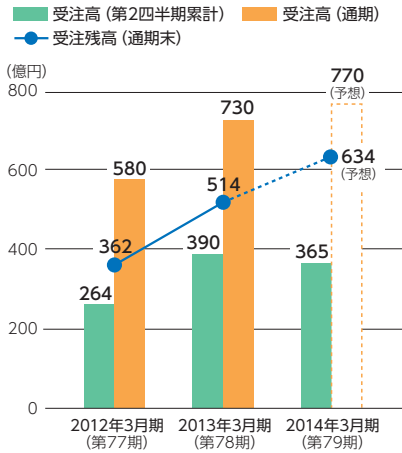


新型サーボプレス機  
[DSF-C1-1100A]

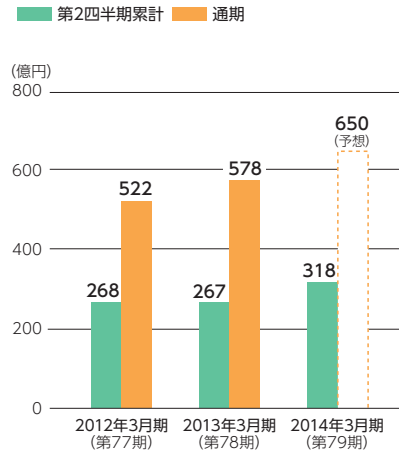
2014年3月期 通期見通し

4期連続増収増益、増配見込み。当期純利益および配当は過去最高更新へ。

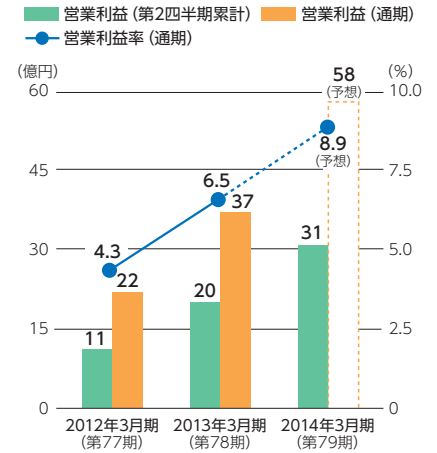
## 受注高/受注残高



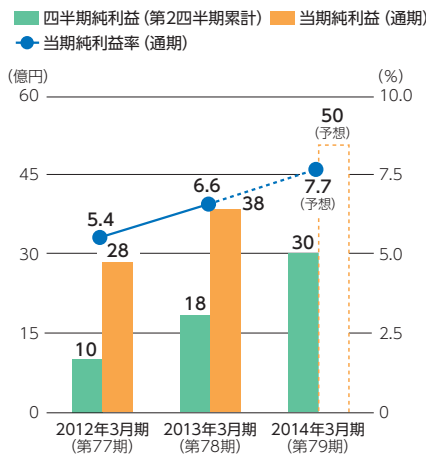
## 売上高



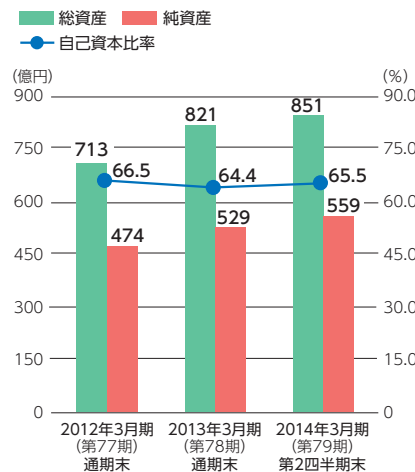
## 営業利益/営業利益率



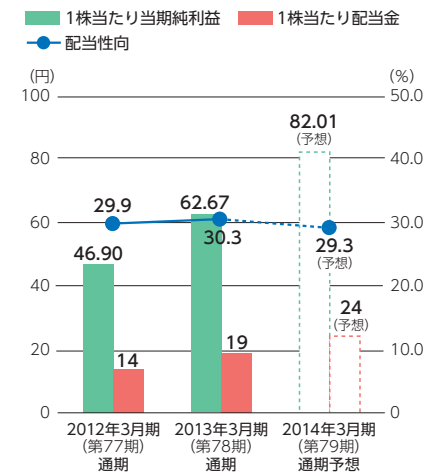
## 四半期(当期)純利益/当期純利益率



## 総資産/純資産/自己資本比率



## 1株当たり当期純利益/1株当たり配当金/配当性向



## グローバル分業体制の進展

### 海外拠点における生産能力の拡充と販売・サービス事業の強化

新興国向けを中心とした自動車関連の設備投資需要増加に対応すべく、当社は海外事業の体制強化に注力しています。例えばマレーシアでは、2012年に工場を拡張したうえ、主力の汎用プレス機の生産のみならず、今期からサーボモーターの生産も開始し、日本に替わる汎用プレス機のメイン生産基地化を目指しています。加えて、現在拡張中のイタリア工場も含め、世界5ヶ国の生産拠点の連携により、調達から生産までを最適で行う体制を強化し、グループ全体での納期短縮や生産効率の向上に取り組んでいます。

さらに、今期はブラジルとインドネシアにも拠点を新設し、海外納入が増えるプレス機のオーバーホールなどのアフターサービス事業を強化することで、安定収益拡大を図ってまいります。



アジア市場での拡販に向けてフル稼働のマレーシア工場

▶ 会社概要

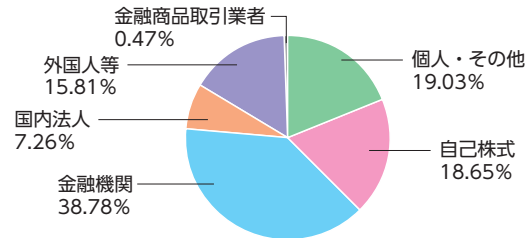
商号 アイダエンジニアリング株式会社  
 創業 大正 6 年(1917 年) 3 月  
 設立 昭和12年(1937年) 3 月  
 資本金 78 億31百万円  
 上場取引所 東京証券取引所市場第一部  
 証券コード 6118  
 従業員数 1,731名(連結) 724名(単体)  
 URL <http://www.aida.co.jp>  
 役員

代表取締役社長 会田 仁一  
 取締役 中西 直義  
 取締役 片岡 博道  
 取締役 金村 貞行  
 取締役 八木 隆  
 取締役 ヤップ テック メン  
 取締役 増田 健  
 取締役(社外) 山崎 猛  
 取締役(社外) 大磯 公男  
 常勤監査役(社外) 松本 誠郎  
 監査役(社外) 金井 洋  
 監査役(社外) 巻之内 茂

▶ 株式の状況

発行可能株式総数 188,149,000 株  
 発行済株式総数 79,147,321 株 (うち自己株式 14,761,047株)  
 株主数 7,082名

所有者別株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,265	8.18
第一生命保険株式会社	4,000	6.21
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	3,396	5.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,261	5.07
日本生命保険相互会社	2,756	4.28
明治安田生命保険相互会社	2,516	3.91
株式会社みずほ銀行	2,179	3.38
会田 仁一	1,433	2.23
RBC ISB A/C DUB NON RESIDENT/DOMESTIC RATE	1,350	2.10
東京海上日動火災保険株式会社	1,104	1.72

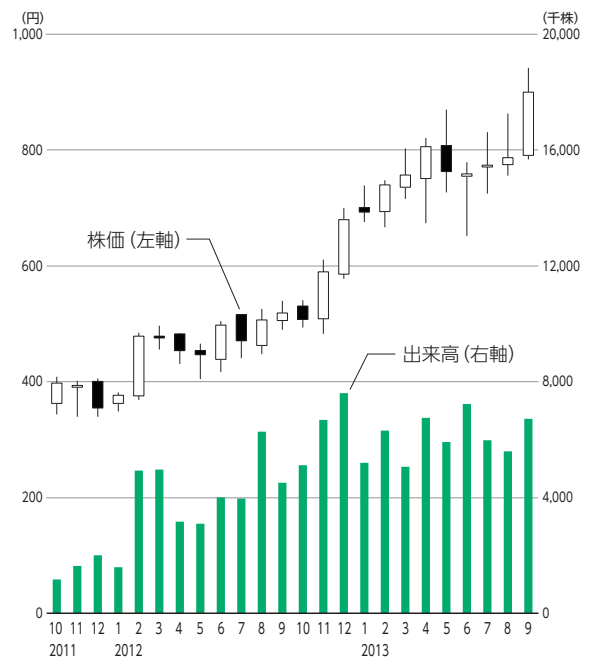
(注) 1. 株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(14,761,047株)を控除した株式数(64,386,274株)を基準に算出しております。  
 3. 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)は、株式給付信託(U-ESOP)における当社株式の再信託先です。

▶ 株主メモ(各種お問い合わせ先)

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
 剰余金の配当基準日 3月31日  
 定時株主総会 毎年6月下旬  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券：本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行：本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。
公告方法	電子公告により行い、公告掲載 URL は <a href="http://www.aida.co.jp/ir/koukoku/index.html">http://www.aida.co.jp/ir/koukoku/index.html</a> といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	

▶ 当社株価および出来高の推移(月足)



UD FONT 見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

